

**人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業  
令和6年度採択プログラム 中間評価調書**

【公表】

1. 代表校名	「左寄せ」にて記入してください。なお、法人の種別(国立大学法人等)不要です。
2. 連携校名	
3. 整理番号	「中間評価調書等の作成・提出について」別表の整理番号を記入してください。
4. プログラム名称	
5. 事業連携機関 (連携校を除く)	申請書の「事業連携機関」から転載してください。 なお、追加された事業連携機関等がある場合には、朱書きで追記し、 ( )内に追加した年月を記載してください。
6. 事業期間	令和6年度～令和11年度（6年間）

7. 事業責任者	職名・氏名	
8. 事務担当者	職名・氏名	「事務担当者」については、提出日時点の 担当者を記載してください。
	電話番号	
	FAX番号	
	e-mail	

【公表】

9. 事業の概要(※400字以内)
<p>・申請書「1. プログラムの構想（1）プログラムの概要」から転載してください。</p> <p>・年度が進行したことにより、本調書提出時点と時系列が合致しない記載がある場合には、 適宜修正してください。 (例：令和7年度に学府設置を予定している。→令和7年度に学府を設置した。)</p> <p>・記載は400字以内とします。(400字を超えると、本欄右上にエラーメッセージが出ます。)</p>

10. 採択プログラムへの学生参加状況

1. 令和8年度の採択プログラム参加学生定員(1学年あたり)

●名  
 ・代表校合計 ○名  
 ・連携校合計 ○名  
 (うち、◆◆大学▲名、××大学▲名)

※参加学生定員の総数と、その内訳  
 (代表校、連携校別)を記載してください。

2. プログラム参加学生の状況

※自由記述  
 (事業計画に沿って、プログラム受講の参加状況・その他について記入してください。)

3. プログラム参加要件について

- ・代表校については、○○。
- ・連携校については、●●。

※本プログラムの参加要件について、簡潔に記入してください。  
 その際、代表校と連携校は別建てにて記入してください。

4. プログラム修了要件について

- ・代表校については、○○。
- ・連携校については、●●。

※本プログラムの修了要件について、簡潔に記入してください。  
 その際、代表校と連携校は別建てにて記入してください。

5. プログラム参加学生数の実績(令和8年5月1日現在)

(1)総表

年度	学年					計
	博士前期課程1年	博士前期課程2年	博士後期課程1年	博士後期課程2年	博士後期課程3年	
令和6年度						0
・うち、代表校学生						0
・うち、連携校学生						0
令和7年度						0
・うち、代表校学生				0	0	0
・うち、連携校学生				0	0	0
令和8年度				0	0	0
・うち、代表校学生				0	0	0
・うち、連携校学生	0	0	0	0	0	0
<b>総計(A:代表校合計 + B:連携校合計)</b>						<b>0</b>

※「5.プログラム参加学生の実績」については、令和8年5月1日現在の実績を記入してください。  
 ※(1)総表については、「(3)プログラム参加学生の選抜の状況」うち、  
 1.事業全体「③ ②のうちプログラム参加学生数」に記載の数値と合わせてください。

※「(1)総表」については、自動表示のため入力不要です。  
 下段「(2)年度及び大学、研究科・専攻等別」の箇所に  
 数値を記入してください。

(2)年度及び大学、研究科・専攻等別  
【令和6年度】

大学、 研究科・専攻等別	学年					計
	博士前期課程1年	博士前期課程2年	博士後期課程1年	博士後期課程2年	博士後期課程3年	
年度計	0	0	0	0	0	0

(A:代表校内訳) ○○大学

●●研究科 ●●専攻等						0
●●研究科 ●●専攻等						0
●●研究科 ●●専攻等						0
<b>代表校合計</b>						<b>0</b>

※上段の各年度の集計表については、自動表示のため入力不要です。  
下段(A:代表校内訳)及び(B:連携校内訳)箇所それぞれ数値を入力してください。  
※なお、代表校及び連携校それぞれにおいて、大学、研究科・専攻等別に記載してください。

(B-1:連

●●研究科 ●●専攻等						0
●●研究科 ●●専攻等						0
●●研究科 ●●専攻等						0
<b>B-1:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-2:連

						0
						0
						0
<b>連携校合計</b>						<b>0</b>

※連携校ごとに内訳を記入してください。  
その際、「様式1」うち、2.連携校名に記載の順番に記入してください。  
※集計表が不足する場合は、非表示としている「+」をクリックして、使用してください。  
また、不要な集計表がある場合は、行削除はせず、非表示等の設定としてください。  
※全体として、計算式は削除しないでください。(「3.(1)総表」の集計表に反映されるため。)

(B-3:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-3:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-4:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-4:連携校合計</b>						<b>0</b>

**【令和7年度】**

大学、 研究科・専攻等別	学年					計
	博士前期課程1年	博士前期課程2年	博士後期課程1年	博士後期課程2年	博士後期課程3年	
年度計	0	0	0	0	0	0

(A:代表校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>A:代表校合計</b>						<b>0</b>

(B-1:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-1:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-2:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-2:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-3:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-3:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-4:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-4:連携校合計</b>						<b>0</b>

**【令和8年度】**

大学、 研究科・専攻等別	学年					計
	博士前期課程1年	博士前期課程2年	博士後期課程1年	博士後期課程2年	博士後期課程3年	
年度計	0	0	0	0	0	0

(A:代表校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>A:代表校合計</b>						<b>0</b>

(B-1:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-1:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-2:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-2:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-3:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-3:連携校合計</b>						<b>0</b>

(B-4:連携校内訳) ○○大学

						0
						0
						0
<b>B-4:連携校合計</b>						<b>0</b>

(3)プログラム参加学生の選抜の状況

1. 事業全体

プログラム募集定員数	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
<b>A. 申請時計画定員</b>	0	0	0	0	0	0
うち、代表校学生						
うち、連携校学生						
<b>B. 募集定員実績</b>	0	0	0	0	0	0
うち、代表校学生	0	0	0	0	0	0
うち、連携校学生	0	0	0	0	0	0

※「1. 事業全体」の集計表については、自動表示のため入力不要です。  
 「2.内訳(代表校)」及び「3.内訳(連携校)」箇所にそれぞれ数値を入力してください。  
 ※「A.申請時計画定員」については、申請時の経費積算上において想定するプログラム参加員数があることを踏まえて、令和6年度～令和11年度までの数値の記載をお願いします。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
<b>① 応募学生数</b>	0	0	0	0	0	0
うち、代表校学生						
うち、連携校学生						
<b>② 合格者数</b>						
うち、代表校学生						
うち、連携校学生						
<b>③ ②のうちプログラム参加学生数</b>	0	0	0	0	0	0
うち、代表校学生	0	0	0	0	0	0
・自大学出身者数 (カッコ内は、内数として留学生数)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
・他大学出身者数 (カッコ内は、内数として留学生数)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
・その他、大学卒業生によらない数 (カッコ内は、内数として留学生数)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
・社会人学生数 (カッコ内は、内数として留学生数)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
うち、連携校学生(全体)	0	0	0	0	0	0
<b>プログラム合格倍率</b> (応募学生数/合格者数)	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍
<b>合格率</b> (合格者数/募集定員実績)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
<b>充足率</b> (プログラム参加学生数/募集定員実績)	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※令和8年3月31日現在の状況を記載ください。  
 なお、令和8年度の項目は、4月1日のプログラム参加学生数を記載ください。  
 ※選抜時の状況を確認したいため、途中辞退者については考慮せず記載ください。  
 ※学生募集開始年度以前については、セルに斜線を引いてください。  
 ※当該年度にプログラムに参加した学生に係る応募状況を記入してください。  
 (「令和6年度」であれば、令和6年度よりプログラムに参加した学生の選抜に係る応募状況及び選抜状況を記載。)  
 ※「留学生」及び「社会人」の定義は、学校基本調査と同様とします。  
 ※各欄の( )の中には、うち留学生数を記載してください。

【備考】

<p>※選抜等にあたって、何か特殊な事情等がある場合は、本欄にてその事情や状況等を記載してください。</p>
--------------------------------------------------------

2. 内訳（代表校：〇〇大学）

プログラム募集定員数	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
A. 申請時計画定員						
B. 募集定員実績						
※代表校の数値を記入してください。 ※全体として、計算式は削除しないでください。（「1. 事業全体」の集計表に反映されるため。）						
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 応募学生数						
② 合格者数						
③ ②のうちプログラム参加学生数	0	0	0	0	0	0
・自大学出身者数 （カッコ内は、内数として留学生数） ・他大学出身者数 （カッコ内は、内数として留学生数） ・その他、大学卒業生によらない数 （カッコ内は、内数として留学生数） ・社会人学生数 （カッコ内は、内数として留学生数）						
プログラム合格倍率 （応募学生数/合格者数）	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍
合格率 （合格者数/募集定員実績）	0%	0%	0%	0%	0%	0%
充足率 （プログラム参加学生数/募集定員実績）	0%	0%	0%	0%	0%	0%

3. 内訳（連携校 合計）

プログラム募集定員数	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
A. 申請時計画定員						
B. 募集定員実績						

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
① 応募学生数	0	0	0	0	0	0
うち、連携校：〇〇大学	<p>※連携校ごとに内訳を記入してください。                      その際、「様式1」うち、2.連携校名に記載の順番に記入してください。                      ※集計表が不足する場合は、非表示としている「+」をクリックして、使用してください。                      また、不要な集計表がある場合は、行削除はせず、非表示等の設定としてください。                      ※全体として、計算式は削除しないでください。（「1. 事業全体」の集計表に反映されるため。）</p>					
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
② 合格者数	0	0	0	0	0	0
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
③ ②のうちプログラム参加学生数	0	0	0	0	0	0
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
うち、連携校：〇〇大学						
プログラム合格倍率 (応募学生数/合格者数)	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍	0.00倍
合格率 (合格者数/募集定員実績)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
充足率 (プログラム参加学生数/募集定員実績)	0%	0%	0%	0%	0%	0%

## 11. 採択プログラムに参画する教員一覧

令和8年4月1日現在

&lt;代表校&gt;

No.	氏名	事業責任者欄	所属(大学、企業・官公庁、研究所等)・職名	採択プログラムにおける役割
1	〇〇 〇〇	★	〇〇大学	事業責任者
2	〇〇 〇〇		〇〇大学××研究科	事業担当者
3	〇〇 〇〇		〇〇大学□□研究科	カリキュラム総括
4	〇〇 〇〇		〇〇大学□□研究科	アセスメントプラン運営
5	〇〇 〇〇		〇〇大学××研究科	外部機関との渉外
6	…		…	「〇〇」(科目名)担当
7	…		…	「□□」(科目名)担当
8	〇〇 〇〇		△△大学	事業責任者
9	〇〇 〇〇		△△大学××研究科	事業担当者
10	〇〇 〇〇		△△大学□□研究科	カリキュラム総括
11	〇〇 〇〇		△△大学□□研究科	アセスメントプラン運営
12	〇〇 〇〇		△△大学××研究科	外部機関との渉外
13	…		…	「〇〇」(科目名)担当
14	…		…	「□□」(科目名)担当
15	※令和8年4月1日現在、採択プログラムに参画する教員を全て記入してください。(代表校) ※行が不足する場合は、適宜追加してください。			
16				
17				
18				
19				
20				

※事業責任者欄においては、該当する方に「★」を付すこと。

<代表校以外>

No.	氏名	事業責任者欄 (※大学毎)	所属(大学、企業・官公庁、研究所等)・職名	採択プログラムにおける役割
1				
2				
3				
4				
5				
6	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;">                     ※令和8年4月1日現在、採択プログラムに参画する教員を機関ごとに全て記入してください。(代表校以外)                      また、機関ごとに「事業責任者欄」に「★」を付してください。                      ※行が不足する場合は、適宜追加してください。                 </div>			
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※事業責任者欄においては、該当する方に「★」を付すこと。(連携校毎に事業責任者を選定すること。)





② 本プログラムにおける連携校の役割・代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について  
(連携校毎にそれぞれ 1 ページ以内)

【連携校：〇〇大学】

本プログラムにおける連携校の役割について

- ・連携大学ごとに以下を記載してください。  
その際、「様式 1」うち、2. 連携校名に記載の順番に記入してください。
  - ✓ 本プログラムにおける連携校の役割について
  - ✓ 代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について

代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について

## 【連携校：〇〇大学】

本プログラムにおける連携校の役割について

代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について

- ・連携大学ごとにそれぞれ1ページ以内とします。
- ・なお、「本プログラムにおける連携校の役割について」及び「代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について」の両項目に対応する取組み状況等についての記載内容が1ページ以内に収まる場合は、複数大学分をまとめたページとすることは可とします。
- ・ただし、「本プログラムにおける連携校の役割について」及び「代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について」のどちらか一方でも、次ページに渡る場合は、ページの改変は行わないこと。

## 【連携校：〇〇大学】

本プログラムにおける連携校の役割について

代表校とのネットワークの構築状況や取組み等について

**(1) 大学院の改革方針を踏まえた事業の実施基盤の構築状況（5 ページ以内）**

各進捗状況について、具体的に記載してください。

- ① 事業を実施する部局等にとどまらず、全学的な責任・協力体制の下で事業計画の実現かつ人文・社会科学系の大学院改革に向け、学内外機関（代表校及び連携校・連携先機関）との組織的連携に基づく実施体制が整備されているか。また、事業の実施体制は、大学院全体の改革方針を踏まえたものとなっているか。【実施体制・大学院改革の進捗】

- ・記載にあたっては、申請書の以下の記載等を踏まえ、適宜定量的な指標や図表等を用いて、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

<申請書の記載等>

- ・「様式 1 1. (3) 大学院の改革方針を踏まえた本事業の位置付け」
- ・「様式 1 2. (1) 運営体制 ①実施体制」

(令和 5 年度採択「大学院連携型」プログラムで実施されている大学院改革との関係が明確に整理された上で、本プログラムが進められているか。)

【令和 5 年度採択「大学院連携型」のプログラムを代表校として実施している大学】

- ・本欄に記載してください。
- なお、文字数の制限はございませんが、「(1) 大学院の改革方針を踏まえた事業の実施基盤の構築状況」全体のページ制限内に収めること。

【令和 5 年度採択「大学院連携型」のプログラムを代表校として実施していない大学】

- ・下線以下の内容は削除せず、「令和 5 年度（大学院連携型）の採択大学ではない」旨、記載してください。

② 以下の評価項目に則して、評価・PDCAサイクル等の体制は着実に整備されているか。【評価体制】

【必須となる取組に関する項目】

✓事業計画の進捗、達成状況に関する現状把握・分析を行い、その結果を基に事業計画の改善や見直しを行う評価体制が整備されているか。<自己評価体制>

・記載にあたっては、申請書の以下の記載等を踏まえ、適宜定量的な指標や図表等を用いて、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

<申請書の記載等>

・「様式1 2. (1) 運営体制 ②評価体制」

**【期待される取組等に関する項目】**

✓海外及び国内連携校以外の大学や産業界等の有識者などの第三者による外部評価を行い、これらの評価結果を反映して改善を行う体制が整備されているか。<外部評価体制>

✓人文・社会科学系の教育や研究に係る、国の審議会等により取りまとめられた振興方策等の内容も踏まえつつ、取組の不断の見直し・改善を行う仕組みが整備されているか。<PDCAサイクル体制>



**【必須となる取組に関する項目】**

- ✓採択プログラムの規模については、当初の構想・計画に沿ったものであるとともに、10名以上の学生、3名以上の教員及び1名以上のプログラムコーディネーター (URA 等) が参画する水準となっているか。
  
- ✓連携校・連携先機関と国際的な教育研究ネットワークを構築し、さらに、当ネットワークを活用した協働教育を積極的に進めたものとなっているか。
  
- ✓組織的な就職支援体制が構築され、修了者のキャリアパス開拓・拡大に向けて有効に機能しているか。
  
- ✓プログラム参加学生の語学力確保のため、主に日本人学生に対する外国語能力向上に向けた措置を講じるものとなっているか。
  
- ✓学位プログラムを構築する事業計画である場合、3つの方針（「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」）の策定が整備され、これに基づく体系的なプログラムが構築されているか。

**【期待される取組等に関する項目】**

✓学位プログラムを構築する計画である場合、学外からの審査委員の登用等による開かれた円滑な学位審査プロセスを整備し、社会ニーズに応じた学位プログラムを構築するものとなっているか。

✓修了者が身に着けるべき能力（トランスファラブルスキル等）の修得状況について、学生が活用可能な形で見える化される取組となっているか。

✓学生の専門と近い教員による多面的指導や、異分野融合を柔軟に進める体制構築に向けた取組を行う場合、その内容が具体的かつ実現可能性が期待できるものとなっているか。

**【(その他) 特筆すべき取組等】**

・「(その他) 特筆すべき取組等」には、大学間の連携で得られた期待以上の成果や、当初計画になかった新たな試み等あれば、記載ください。







② 補助期間終了後の発展的かつ継続的な事業実施に向けて、学内外資金を確保するための方策を具体化するなど、自走化に向けた運営資金の確保に着手しているか。【資金的な事業計画の継続性】

・記載にあたっては、申請書の以下の記載を踏まえ、進捗状況を簡潔、明確かつ具体的に記載してください。

<申請書の記載等>

・「様式1 2. (2) 取組の継続及び発展・事業成果の波及に関する構想等」





② フォローアップ報告書及び現地視察報告書において付された課題・意見への対応を適切に行っているか。【報告書等への対応】

フォローアップ報告書において付された課題・意見	対応状況
<p data-bbox="191 302 798 414" style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">「委員フォローアップ報告書(令和7年度)」に付された課題・意見を転記</p> <p data-bbox="175 436 798 515">①●●●●について…………… ……………すること。</p> <p data-bbox="175 694 798 772">②●●●●について…………… ……………必要である。</p>	<p data-bbox="829 302 1436 414" style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">対応状況を記載</p> <p data-bbox="821 436 1436 627">①●●●●については…………… …………… ……………と対応している。</p> <p data-bbox="821 694 1436 817">②●●●●については…………… ……………と対応している。</p>
<p>・左欄には「委員フォローアップ報告書(令和7年度) 2 課題・意見等(今後、フォローアップが必要と思われる点等)」(以下、「課題・意見」という)に付された内容を転記してください。また、右欄の内容が対応するよう、「①」等を付して左右の高さを揃えてください。</p> <p>・課題・意見をすべて転載することでページ数の制限を超過してしまう場合は、課題・意見を適宜要約した上で、対応状況を中心に記載してください。</p>	

現地視察報告書において付された課題・意見	対応状況
<p data-bbox="175 1444 798 1523">①●●●●について…………… ……………すること。</p> <p data-bbox="175 1702 798 1780">②●●●●について…………… ……………必要である。</p>	<p data-bbox="821 1444 1436 1579">①●●●●については…………… ……………</p> <p data-bbox="821 1702 1436 1825">②●●●●については…………… ……………と対応している。</p>
<p>・左欄には「委員現地視察報告書(令和7年度) 2 意見(改善を要する点、実施した助言等)」(以下、「課題・意見」という)に付された内容を転記してください。また、右欄の内容が対応するよう、「①」等を付して左右の高さを揃えてください。</p> <p>・課題・意見をすべて転載することでページ数の制限を超過してしまう場合は、課題・意見を適宜要約した上で、対応状況を中心に記載してください。</p>	

(6) 経費執行の適切性 (年度毎に2ページ以内) <事業全体>

①取組内容に照らし、経費執行を適切に行っているか。【経費執行の適切性】

令和7年度までの実績報告(「補助対象経費別内訳対比表」の「実支出額」)に基づき記載してください。

<令和6年度>	経費区分	金額(千円)				備考
		交付決定額		使用金額		
		補助金額	大学負担額	補助金額	大学負担額	
[物品費]		460	220	462	220	
①設備備品費		400	200	400	200	
・○○システム一式(1式×@350千円)		250	100	250	100	□□に使用
・▲▲システム一式(1式×@250千円)		150	100	150	100	▼▼に使用
②消耗品費		60	20	62	20	●●に使用
・事務用品		40	0	42	0	
・実習用品		20	20	20	20	
[人件費・謝金]		5,800	0	5,200	0	
①人件費		4,800	0	4,200	0	
・■専任教員雇用(4人×@200千円×3月)		2,400	0	2,400	0	1~3月雇用
・事務補佐員(4人×@100千円×6月)		2,400	0	1,800	0	10月~3月雇用
②謝金		1,000	0	1,000	0	△△会議開催のため(○月○日)
・会議出席謝金(10人×@19千円×4回)		760	0	760	0	
・セミナー講師謝金(4人×@30千円×2回)		240	0	240	0	
[旅費]		800	0	800	0	
①旅費(うち国内旅費)		800	0	800	0	
・国内旅費 ○○旅費 8人×@100千円		800	0	800	0	
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>②旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「経費区分」欄には、文部科学省に提出した各年度の実績報告書のうち「補助対象経費別内訳対比表」に記入した項目を転載するとともに、その内容(員数、積算等)についても追記してください。</li> <li>「経費区分」欄について、全て転載するとページ数の制限を超過してしまう場合には、主な支出を書き出し、「～等」とするなど、指定のページ内に納まるように作成してください。</li> </ul> <p>③旅費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象経費のうち、補助金の額を「補助金額」に、自己負担その他の額を「大学負担額」欄に記入してください。</li> <li>「補助金額」及び「大学負担額」を記入すると、各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。実績報告書の額と一致しているか確認してください。(※ただし千円単位で記載し、端数調整をしてください。)</li> </ul> <p>[その他]</p> <p>①外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「備考欄」には用途等の詳細を記載してください。</li> <li>なお、様式3に限り、文字サイズを8ポイント程度に縮小することを可とします。</li> </ul> <p>②印刷費</p> <p>③会議費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千円以上の返納、預金利息がある場合、合計に含めず「その他(諸経費)」欄に記載ください。</li> <li>なお、「返納額」については、「使用金額」の補助金額欄に記載し、「交付決定額」の補助金額欄と同額になるように記載ください。(※利息が発生する場合を除く。)</li> </ul> <p>④通信運搬費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、「利息」については、「交付決定額」及び「使用金額」欄に記載しないでください。(※利息分だけ「使用金額」が大きくなるよう作成ください。)</li> </ul> <p>⑤光熱水料</p> <p>⑥その他(諸経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各ページに、「大学名」及び「プログラム名称」を記載してください。</li> <li>中間評価調書(様式2)から続けて、通しページを中央下部に付してください。</li> </ul> </div>						
・利息	2千円	0	0	0	0	
・返納	600千円	0	0	600	0	
令和6年度	合計	7,060	220	7,062	220	

(前ページの続き)

<令和7年度>	経費区分	金額(千円)				備考
		交付決定額		使用金額		
		補助金額	大学負担額	補助金額	大学負担額	
	[物品費]	0	0	0	0	
	①設備備品費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	②消耗品費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	[人件費・謝金]	0	0	0	0	
	①人件費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	②謝金	0	0	0	0	
	・					
	・					
	[旅費]	0	0	0	0	
	①旅費(うち国内旅費)	0	0	0	0	
	・					
	・					
	②旅費(うち外国旅費)	0	0	0	0	
	・					
	・					
	③旅費(うち外国人招聘旅費)	0	0	0	0	
	・					
	・					
	[その他]	0	0	0	0	
	①外注費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	②印刷製本費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	③会議費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	④通信運搬費	0	0	0	0	
	・					
	・					
	⑤光熱水料	0	0	0	0	
	・					
	・					
	⑥その他(諸経費)	0	0	0	0	
	・					
	・					
	・					
令和7年度	合計	0	0	0	0	

